

教育データの利活用について

昨年度の校長室だより第5号 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/76470/474828.pdf> の再掲になります。

すでに4月8日に本校Webサイトの「お知らせ」のページにも教育委員会事務局からの「渋谷区 ICT 教育システムについて」でも掲載しています。 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/94635/615113.pdf>

渋谷区モデルのタブレットPCを教育活動の中で活用していくことで様々なデータが蓄積されています。いわゆる「教育データ」と言われるものです。（「教育ビッグデータ」とも言いますが・・・まだまだBIGとは・・・）この「教育データ」を有効活用することで、きめ細かな指導・支援等が実現するのではないかと期待のできる「素敵なデータ」があります。そこで、渋谷区では、これらのデータ等を活用して、教員が1人1人の生徒をデータ面から分析・支援することができるように、これまで個別に把握していた複数のデータを集約・整理する「教育ダッシュボード」が整備されてます。

この「教育ダッシュボード」を教員が利活用することで、データから「一人一人の生徒の状況を多面的に把握する」ことが可能となり、学習指導・生徒指導・学級経営・学校運営など教育活動の各場面において、一人一人の力を最大限に引き出すためのきめ細かい支援が可能になると考えています。これまで教員個々の「感覚」を中心に捉えていた生徒の状況を、全教員で重層的に「データ」での確認をすることで今後の教育の可能性が広がるのではないかと考えています。

タブレットPCを積極的に活用して、学習者主体の「学び」を構築すると同時に、教員が子供たちについて「感覚」だけでなく「確かなデータ」をベースに向き合えることになると考えています。

現在、この分野では文部科学省「教育データの利活用に関する有識者会議」により様々な検討が進められて、「教育データ利活用の実現に向けた実効的な方策について（議論のまとめ）」として報告がされています。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/158/index.html

まだまだ、完璧に教育データの利活用ができる「教育ダッシュボード」ではありませんが、本校では全校体制で、安全・安心面に配慮しながら利活用に取り組んでいきます。



教育ダッシュボードの画面例 表示内容・レイアウトは、随時追加・改善していく予定

現在集約されているデータ

- ・ 出欠状況、保健室の来室記録
- ・ 学校生活アンケート
- ・ タブレットの利用履歴 (Web 検索キーワード・アクセスログなど)
- ・ タブレットのLTE回線利用量
- ・ HyperQU テスト (よりよい学校生活と友づくりのためのアンケート)
- ・ 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査票 (体力テスト) 等

これまでバラバラであったデータが集約され、画面上に可視化されます。

(教員が生体認証を含む多段階認証でアクセスした渋谷モデルの端末のみで利用可)

☆ タブレット端末の取扱いについて

タブレット端末の破損事例が増えています。タブレット端末を安全かつ大切に使い続けるために、ご家庭においてもタブレットの正しい使い方等について対話するなど、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、故意による機器の破損・紛失等が生じた際には、費用をご負担いただく場合もありますので、丁寧に取り扱うようお願いいたします。

☆ ご家庭におけるデジタルシティズンシップ教育について

子供たちがデジタル・ツールを上手に使うことができるよう、使う際のマナーや情報を正しく入手し理解する方法などを、ご家庭においても対話をしていただけますと幸いです。

最近では、「ゲーム障害」 https://www.nhk.or.jp/kenko/atc_883.html ゲームに熱中し、利用時間などを自分でコントロールできなくなり、日常生活に支障が出る病気として、WHO (世界保健機関) で新たな病気として国際疾病分類に加えられています。

便利な (楽しい) 道具として「使いこなす」スキルを学校・家庭・地域社会とともに育てていきたいと考えています！